

厚生委員会メンバー紹介

(左から順に)

委員長 内藤美貴子

副委員長 大野祐司

委員 佐藤堯彦 橘正俊 宮本和実

武藤千里 元木勇



厚生委員会報告

- 児童虐待防止について
- 総合福祉センター移転について
- ひとり暮らし高齢者への支援策について



DVの根絶・児童虐待防止



総合福祉センター

○児童虐待防止について

【センター直営化のメリット】

◆人件費が総額で約600万円ほど増額したが.....。

→専門職の安定的な確保が可能に。

→住基台帳の確認や関係機関との情報共有がスムーズに。



DVの根絶・児童虐待防止



オレンジリボン

○児童虐待防止について

【今後の検討・課題】

◆通報から48時間以内の訪問時間が課題。

→職員体制の充実をして行く必要がある。

◆児童相談所とは違って法的措置がとれない。

→児童虐待防止センターでは、それ以上の介入が難しい。



DVの根絶・児童虐待防止



オレンジリボン

○児童虐待防止について

【今後の検討・課題】

- ◆多摩児童相談所へのアクセスが悪いが、対応は。
→国領の「すこやか」に見相職員が来て面談することもある。
- ◆新たに調布への見相の誘致の希望が上がっているのか。
→市としての対応を検討している。



DVの根絶・児童虐待防止



オレンジリボン

○児童虐待防止について

【今後の検討・課題】

◆コロナ禍において「家事・育児支援」は重要。

一般のベビーシッター事業とは区別して周知するべき。

→指摘を受けて冊子等は改善。今後も周知に努める。

◆「こんにちは赤ちゃん事業」は虐待防止対策としても効果的。

全戸訪問を徹底すべき。

→訪問拒否への対応が課題。

○総合福祉センターの移転について

令和7年に
総合福祉センターを
京王多摩川駅前に移転予定



総合福祉センター

○総合福祉センターの移転について

【移転の課題】

◆京王多摩川駅へのアクセスが悪い

→無料シャトルバスを検討する。

◆京王多摩川駅のバリアフリー化

・エスカレーターを設置

・駅2階とセンターを結ぶ通路の整備

→技術的・構造的に難しいと聞いている。

○総合福祉センターの移転について

【調布駅前に残す機能について】

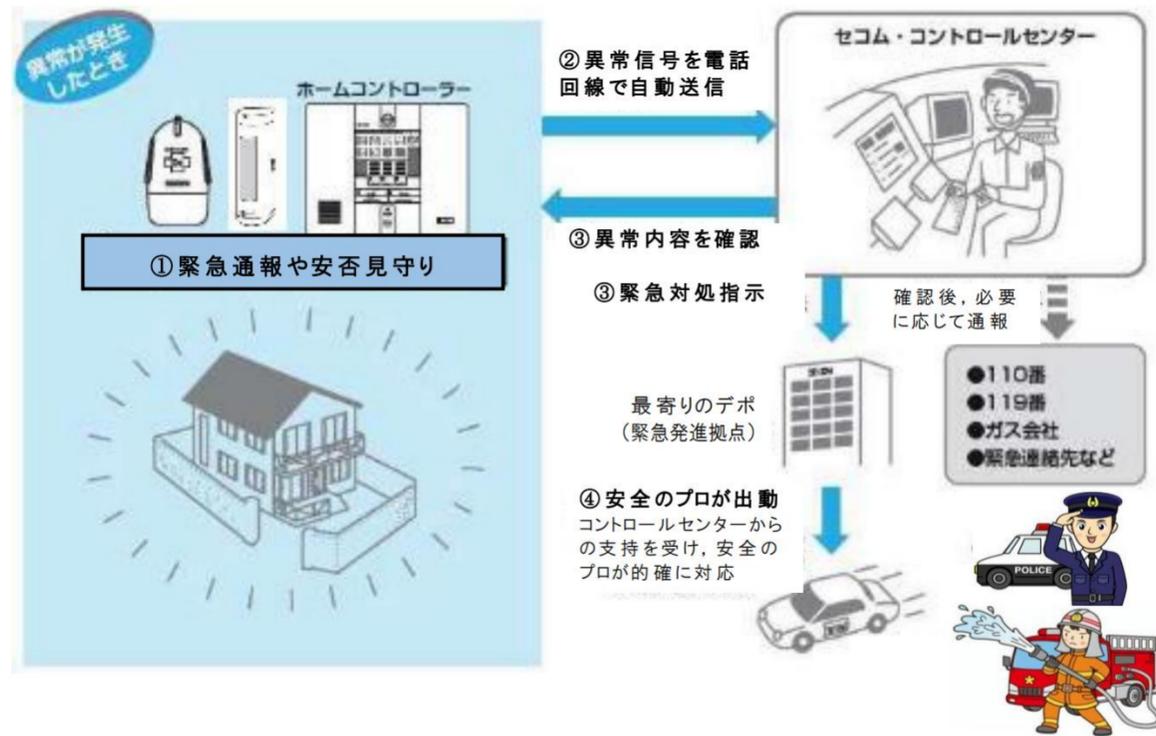
- ◆若者の居場所である「ここあ」はどうなるのか。
→「ここあ」は新施設へ移行する見込み。
- ◆市役所との連携のために相談機能を残すべき。
→相談・交流・集会の機能は残す予定。
- ◆グリーンホール建替の際、
福祉スペースの確保を要望。

○ひとり暮らし高齢者への支援策について

【課題】

ひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯が増加。

高齢者が地域で安心して暮らせる取り組みが**喫緊の課題**。

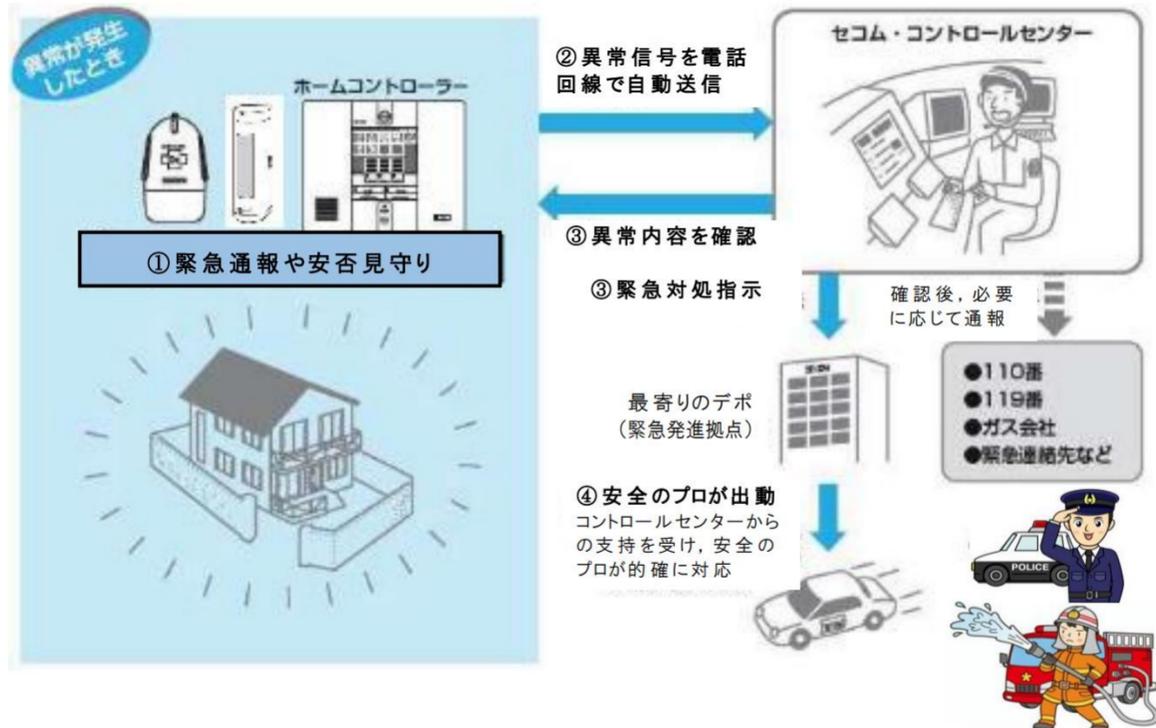


人感センサー

○ひとり暮らし高齢者への支援策について

【人感センサーの設置について】

- ◆事業者変更により、どのくらい費用が削減されたか。
→1台の設置費用が6万円から千円程度までに削減。
- ◆設置要件の変更に伴い、周知の徹底を要望。



人感センサー

○ひとり暮らし高齢者への支援策について

【徘徊高齢者への支援について】

◆徘徊高齢者の支援として身分証明書等はどうしているか。

→ネームシールというアイロンで貼り付けるものを用意。

地域包括支援センターで配布。

〇ひとり暮らし高齢者への支援策について

【その他要望】

- ◆ミニバスのバス停に日除けを設置してもらいたい。
- ◆コロナ禍で外出の機会が減り、心身の状況が低下。地域の老人クラブやふれあい給食等、取り組みの充実を要望。

厚生委員会報告

報告を終わります。
ありがとうございました。